

生活単元学習指導略案

令和 2 年 2 月 7 日 金曜日 2 校時

小学部 2 組 男子 4 人 女子 1 人 計 5 人

指導者 今隈亮太 (CT) 濱田万里代 (ST)

1 単元 (題材) 「〇〇たんけんをしよう」

2 本時の学習 (16/23)

(1) 全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を手掛かりに名称やおおよその役割を答えたり、それらを地図や表に表したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

- ① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現, 主体性>
- ② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力>

(3) 個人目標

児童	個 人 目 標
I. R i (4 年, 男)	施設の外観や施設内の写真を手掛かりに名称や役割を言葉で伝えたり、文字で表したりすることができる。
I. R u (4 年, 女)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりに施設の役割 (何をする場所か) を主語、述語の 2 語文で説明することができる。
T. H (4 年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストと対応付けて、「泳ぐ。」「運動。」などの言葉で伝えることができる。
O. M (3 年, 男)	名称を聞いて施設の外観の写真を選び、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストを選択したり、動作を交えて伝えたりすることができる。
H. K (3 年, 男)	施設の外観の写真を見て名称を言葉で伝え、施設内の写真や施設を利用している動画を手掛かりにして、役割を表すイラストを選択したり、教師の簡単な質問に「泳ぐ。」「運動。」などの言葉で答えたりすることができる。

(4) 実際【①、②は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面】

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5)	※ ロゴ・役割クイズをする。 1 始まりの挨拶をする。 2 学習の流れを確認する。 3 めあての確認をする。 ハートピアは、どんなところ？	- 商業施設や公共施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示することで、これまでの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。 - 文字とイラストを併せて表示することで、示された内容が分かるようにし、学習の流れに対する見通しをもてるようにする。 - 実際の地図やワークシートを示すことで、本時で頑張ることが分かるようにする。	- フラッシュカード - ホワイトボード - 白地図 - ワークシート
展開 (30)	4 ハートピアかごしまについて調べたことや分かったことを白地図やメモにまとめる。 (1) 外観の写真や施設の名称を白地図に貼る。 (2) 施設内の写真や動画を視聴し、役割を表す言葉を伝えたり、イラストを選択したりする。 5 ワークシートに整理する。 【グループ1】CT T.H, O.M 【グループ2】ST I.Ri, I.Ru, H.K	- 地図と動画とを照らし合わせながら確認する活動を行うことで、学校と公共施設等のおおよその位置関係を確認することができるようにする。 ① 校外学習時に撮影した施設内の写真や、施設を利用している動画を視聴することで、「何をしているか」を言葉や動作で表したり、対応するイラストを選択したりすることができるようにする。 - 選択したイラストやキーワードを「調べたことメモ」に貼り付けることで、ワークシートをまとめる際の手掛かりとなるようにする。 ① 施設の名称、外観や施設内の写真、役割を表すイラスト、役割を表す言葉を、それぞれの児童の実態や目標に合わせてワークシートにまとめられるようにする。 - ワークシートでの文字の扱いについて、I.Ri は施設の名称や役割を言葉で伝えた後に文字として表記する。I.Ru, H.K は言葉で伝えた後に教師の記した見本を手掛かりにして視写やなぞり書きで表記する。T.H は書くことよりも文字を用いて単語を構成することに重点を置き、文字カードを貼り付けることで表記する。O.M は、文字の表す内容と対応付けたイラストを用いて、教師の言葉の模倣や動作化で表現できるようにする。	- テレビ - タブレット端末 - 白地図 - 調べたことメモ - ワークシート
終末 (10)	6 まとめたことを発表する。 7 終わりの挨拶をする。	② 各自で作成したワークシートを手掛かりに、教師の簡単な質問に答えることで、まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。	ワークシート

学習指導案について

導案
令和 2 年 2 月 7 日 金曜日 2 校時
小学
全体目標
指導

令和2年2月7日金曜日2校時

小学

全体目標
指導

1 単元(題材) 「〇〇たんけんしよう」

各教科等の内容から設定

本校の学習(16/23)

(1) 全体目標

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を上手に撮らう。また、調べたことをまとめる活動を通して、それらを地図や表に表したりすることができる。

校外学習時に調べたことをまとめる活動を通して、公共施設等の外観や施設内の写真や動画を、掛かりに名称やおおよその役割を答えたり、それらを地図や表に表したりすることができる。

(2) 授業で目指す姿

① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現、主体性> ①

② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力> ②

- ① 調べたことを、写真やイラスト、文字を用いて表現する姿 <思考・判断・表現、主体性>
- ② まとめたことを言葉や動作で伝えようとする姿 <言語能力>

The diagram shows a box on the left containing the text '資質・能力を発揮している具体的な姿' (Concrete posture in which qualities and abilities are being exercised). An arrow points from this box to a larger box on the right containing the text '授業で目指す姿' (Posture aimed for in lessons). Below the right box is a table with two columns: '児童' (Children) and '施設の外観や施設が与えることができる。(4年、男)' (Exterior appearance of the facility or what the facility can provide. (4th year, male)). The table has two rows: the first row is labeled 'I. R 1' and the second row is labeled 'I. D. 1'. The content of the table is as follows:

児童	施設の外観や施設が与えることができる。(4年、男)
I. R 1	施設の外観の写真をとることができる。
I. D. 1	施設の外観の写真をとることができる。

児童	施設の外観や施設が りすることができる。	施設の外観の写真を を手掛かりに施設の役割 を説明することができる。
I. R i (4年, 男)		
I. R u (4年, 女)		
T. H (4年, 男)		
O. M (3年, 男)		
H. K (3年, 男)		

授業で目指す姿

資質・能力を発揮している具体的な姿

資質・能力を発揮している具体的な姿

(4) 実例【①、②】は授業で目指す姿（資質・能力）の評価場面【】	過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・環境
	導入 (5)	※ 主・役割クイズをやる。 1 始まりの挨拶をする。 2 学習の流れを確認する。 3 めあての確認をする。 ハートピアはどこ？	・商業施設や公共施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示しながら、これらの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。 ・文字とイラストを併せて表示することで、文字とイラストが分かるようにし、学習の進捗に合わせた見直しを促すようにする。	・フラッシュカード ・ホワイトボード
	展開 (30)	4 ハートピアが来たことについて調べたことや分かったことをまど地図やメモにまとめる。 (1) 外観の写真や地図の名称をまど地図に貼る。 (2) 施設内の写真や動画を視聴し、役割を表す言葉や絵を伝えたり、イラストを選んだりしたりする。	のおおよその位置関係を確認することができるようになる。 ① 校外学習時に撮影した施設内の写真や、施設で利用している動画を視聴することにより、「何をしているか」を言葉や動作で表したり、対応するイラストを選択したりすることができるようになる。 ・選択したイラストやキーワードを「調べたことメモ」に貼り付けることで、ワークシートをまとめる際のの手掛かりとなるようにする。	・ワークシート
	展開 (30)	5 ワークシートを整理する。 【グループ1】CT T.H. O.M 【グループ2】ST I.Ri, I.Ru, H.K	① 施設の名称、外観や施設内の写真、役割を表すイラスト、役割を表す言葉や、それぞれの児童の意態や目標に合わせてワークシートにまとめるようにする。 ワークシートでの文字の扱いについて、I.Ri は施設の名称や役割を表す言葉で伝えた後に文字として表記する。I.Ru, H.K は言葉で伝えた後に教師の記した見本を手掛かりにして写真やざり書きで表記する。T.H は書くことよりも文字を用いて単語を構成することに重点を置き、文字カードを貼り付けることで表記する。O.M は、文字の表す内容と対応付けたイラストを用いて、教師の言葉の模倣や動作化で表現でき	・ワークシート
終末 (10)		6 まとめたことを発表する。 7 終わりの挨拶をする。	② 各自で作成したワークシートを手掛かりに、教師の簡易な質問に答えることで、まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。	・ワークシート

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・設備
	※ ログ、役割クイズをする。 1 始まりの挨拶をする。 2 学習の流れを確認する。 3 めあての確認する。	商業施設や公営施設のロゴや役割を表したイラストをフラッシュカードで提示すること、これまたの学習を振り返りながら授業への意欲を高めることができるようにする。 文字とイラストを併せて表示すること、で、示された内容が分かるようにし、学習の進捗に合わせた学習目標を設定できるようにする。	・フラッシュカード ・ホワイトボード

資質・能力の評価場面

授業で目指す姿の数字と対応

ハートピアは、どんなところ？

資質・能力の評価場面

授業で目指す姿の数字と対応
させて、留意点を記入

授業指す姿の数字と対応

せ、留意点を記入

のおおよその位置関係を確認することが
できるようにする。

① 校外学習時に撮影した施設内の写真や施設を利用している動画を視聴することで、「何をしているか」を言葉や動作で表したり、対応するイラストを選択したりすることなどができるようにする。

→ 選択したイラストやキーワードを「調べたことメモ」に貼り付けることで、ワークシートをまとめる際の手掛かりとなるようにする。

① 施設の名称、外観や施設内の写真、役割を表すイラスト、役割を表す言葉を、それぞれの児童の実態や目標に合わせてワークシートにまとめられるようにする。

I. R. は施設の名称や役割を言葉で伝えて、
係に文字として表記する。I. Ru, H. K は言葉で伝えて後に教師の記した見本を手掛かりに
字に書くことによりも文字を用いて単語を構成することによりも文字を置き、文字カードを貼る内容と対応付けたイラストを用いて、教師の言葉の模倣や動作化で表現でき

② 各自で作成したワークシートを手掛かりに、教師の簡単な質問に答えることで、まとめたことを友達や教師に伝えることができるようにする。

1